

発言通告書（総括表）

平成25年 第1回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	桜井議員 (自民)	<p>○新たな区政運営について</p> <p>○平成25年度予算について</p> <p>○商店会振興について</p> <p>○次世代育成施策について</p> <p>○高齢者施策について</p>	<p>今回行われた区長選挙を通して区長の区政に対する姿勢と今後の区政運営を問う</p> <p>二度の決算不認定を受けて平成25年度予算の中では、どのような点が変わったのか、今予算策定の基本的な考え方について問う</p> <p>商店会の振興は街の活性化の上からも大切。千代田区の多くを占める小規模な商店会にとって商店会員の減少、店主の高齢化、大型チェーン店の進出は商店会の存亡につながる大きな問題である。区はどのように認識しているか。</p> <p>高齢化が進む中、安心して住み続けられる包括的な施策が必要</p>	区長並びに 関係理事者
2	林議員 (千代田)	<p>○今後の区政運営</p> <p>○高齢者施策</p> <p>○子ども施策</p>	<p>第3次基本計画の改定について 地域力・住民力・行政力について</p> <p>4年後のめざす姿について 介護保険制度について</p> <p>区立保育園の役割と運営について</p>	区長、教育長 並びに 関係理事者
3	木村議員 (共産)	<p>区民世論調査によると、区民の8割以上が「経済面での老後の生活」に不安を訴えている。この不安に応えるために、区政には2つの役割が求められる。ひとつは、区民のくらしと地域経済に影響をもち、国の悪政にノーを発信する役割で</p>	<p>[1] 国の悪政にノーを発信する役割</p> <p>①年金の引下げについて</p> <p>②生活保護制度の改悪について</p> <p>③地方公務員の給与引き下げについて</p>	区長、並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成25年 第1回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	あり、いまひとつは、悪政から区民のくらしの防波堤の役割を果たすことである。 以上の二つの柱＝役割に沿って、区長の見解を問う。	[2] 悪政から区民のくらしの防波堤の役割 ①2013年度の国保料について ②住宅施策について ③公的仕事に携わる非常勤・派遣等の職員の労働条件の改善、並びに公契約条例制定にむけた進捗状況について	区長、並びに 関係理事者
4	山田議員 (公明)	1. 東日本大震災を教訓として 2. 健康施策 3. 区政運営に臨む考えについて 4. その他	○公共施設の安全対策 ○公共施設の維持管理・改修等について ○がん対策について 公共施設の運営等	区長並びに 関係理事者
5	小林た議員 (声)	1. 相続税増税について 2. 補助金の見直しについて	1. 石川区長は、この増税をどのように受け止め、どのような見解をお持ちか。 2. 都心のコミュニティ・文化等保存のための税制のあり方について。 3. 千代田区として、増税に対応するシンクタンクを作っては、どうか。 1. 数年来、補助金の見直しを指摘してきたがなぜ、こんなに時間がかかっているのか。 2. 石川区長は、現在の補助金の見直し状況をどう考えているか、現状をどう説明するのか。 3. 石川区長の補助金全面的見直しの決意は、あるか。 4. 議会は、全ての補助金の見直しの合意が取れているのに区は、一部の見直ししかしないのはなぜか。 5. 補助金の全面的な見直しのためのツール作りが必要。	区長並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成25年 第1回 定例会 代表質問

NO	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	小林た議員 (声)		<p>① 事業シート作成が全ての始まりと考えるが、現在問題になっている補助金のみ、約130事業を一度作成すれば、将来の使用も可能。補助金の事業シートを作成してはどうか。</p> <p>② 事業シートは、住民と話をするツールでもあると考える。これを公開することでさまざまな意見を聞くことが出来る。公開しては、どうか。</p> <p>③ 補助金のあり方検討会を住民参加・参画で作ってはどうか。 他。</p>	区長並びに 関係理事者
6	小枝議員 (民主)	<p>1、『教育と文化』政策の再重点化について</p> <p>2、未利用区有地活用、今後の検討の手順手続きは</p>	<p>○5万人人口回復政策と教育文化が並び立たず困難な時代が続いてきた。区長が選挙において掲げられた「教育と文化のまち千代田区」との理念は、どのようなイメージを表現されたのか。</p> <p>○昭和59年「教育と文化のまち千代田区宣言」で、『わたしたちは、政策のすべてが文化の視点から見直され、展開されることを求めます』との先人の思いを、どのように受け止め、どう展開していくお考えか。</p> <p>○今度こそ、千代田区の豊富な歴史遺産を、観光資源として地域活性化に資するよう広く国内外に紹介する作業を具現化すべきだと考えるが、区長のお考えは。</p> <p>○日大カザルスホールの保存について、千代田区行政当局としても区内に存する比類なき文化の地域資源として、注視していくべきでは。</p> <p>○昭和62年「ふるさと文化の散歩道」を編纂したときのように、庁内に、文化財担当、歴史、芸術、教育、観光、商工、広報などを横断的につなげた組織を作る必要があるのでは。</p> <p>○文化芸術プランにおいて「まちまるごとミュージアム構想」を打ち出していますが、広がりが見えない。具現化を。</p> <p>○「千代田ミュージアム連絡会」ができて7年、保育園幼稚園・小・中学校の学校教育への活用など、千代田の教育の魅力につなげてはいかがか。</p> <p>○区有地の今後について区民の関心は高い。公平公正かつ区民のニーズを踏まえて開かれた論議の場を。</p>	区長並びに 関係理事者